

第5回 大牟田市まちなか活性化協議会 摘録

- 日 時 令和8年7月8日（水） 15:00～16:20
- 場 所 大牟田市役所 新館 経営会議室
- 参 加 者 委 員：15名（うち欠席1名）
事 務 局：6名（大牟田市まちなか活性化推進室）

□ 会議概要

1. 開 会 ～進行：事務局
2. 挨 拶 ～挨拶：正木会長
3. 委員紹介 ～事務局
4. 議 事 ～進行：議長（正木会長）

（1）役員の選出について

委員からの立候補、推薦なし、事務局案により正木委員を推薦
～ 異議なく承認 ～
会長挨拶 ～挨拶：正木会長
副会長選任 ～説明：議長（正木会長）
正木会長より山田委員を指名

（2）まちなか活性化プログラム掲載事業の令和7年度実施状況について

資料1 「まちなか活性化プログラム掲載事業の令和7年度実施状況」

資料4 「令和8年度の主な事業」

～資料説明：事務局

【質疑応答等】

（委 員）

まちなかでされていることと市全体を繋ぐ、何らかの取組みがあれば教えて欲しい。例えば、周辺地域ではスーパーがなくなって、高齢化も進んで買い物に困っている地域がある。そのような地域の方がまちなかへ出かけて行って買い物ができるような施策など、まちなかにはこれだけの資源があるので、もっと発展していったり、起業される方など一緒になっていった方が良い。

（事 務 局）

市内では老舗のスーパーマーケットが撤退している一方で、大型商業施設やディスカウントショップなど、様々な形態のお店が進出しており、地域によって偏りがでないよう懸念している。また、交通の便をどのように確保していくのかは非常に大事な点。市内においても、移動・訪問販売等様々な購入方法があることを市民の方にも周知していく必要があると考えている。販売の手法の

宣伝や市民の方の利便性の向上に取り組んでいきたい。

(委 員)

Oneplate はウェブサイトになるのか。また、ウェブサイトに飛ぶための例えば、インスタグラムのような媒体があるのか。学生の意見として、よくインスタグラムを使っていて、そのようなところの広告にあげると、若い世代に情報が届く。

(委 員)

商工会議所では「味の名店めぐり帖」を紙媒体だが作成しており、飲食店マップに QR コードが添付されていて、そこからウェブサイトにアクセスできる。

(事 務 局)

Oneplate は、WEB サイト。Oneplate と市公式インスタは直接的なリンクは行っていない。シティプロモーションや観光のそれぞれでは地域おこし協力隊を活用したインスタでの情報発信を行っており、そちらとはリンクしている。

(3) 成果指標及び参考指標の状況について

資料2 「成果指標および参考指標の状況について」

～資料説明：事務局

【質疑応答等】

(委 員)

通行量がかなり下がっているのは、天候などの関係もあるのだろうか。

(事 務 局)

調査日の一部時間帯に小雨が降ったとのことだが、はっきりと因果関係があるかは分からない。

(委 員)

調査した曜日を教えて欲しい。また、公示地価の変化をみると有明町よりも新栄町の方が、下がり幅が大きい。新栄町は空地が多く、大牟田駅前と比べると賑わってないように感じる。再開発事業の計画完成までの間にイベントなど行って毎年賑わいを作っていくような計画を検討されているのだろうか。

(委 員)

中心市街地でも、いくつか年間を通じてイベント事業行っている。二十日えびす、大牟田大蛇山まつり、十日市、築町商店街イベント、常駐の大蛇山公開プラザ、大牟田 100 円玉笑店街、年間でスポット的にはあるが、まちなかにおいでいただきたい想いでそういう事業を展開している。

(事 務 局)

調査は 10 月 12 日（日）、10 月 14 日（火）に実施した。平日は令和 5 年、6 年の 4,500 人台から令和 7 年度は 3,500 人に、休日も年々減少し令和 5 年度 5,300 人から令和 7 年度は 4,280 人まで落ちている。平日も休日も減少している状況にあるので、今後もそうした状況が続くのか注視したい。

(事務局)

有明町は国道に面した一等地で下落が少ない一方、新栄町は再開発計画があるが現在は暗い状況。商業者と連携してイベント開催し誘客に取り組んでいるが、数字には反映していないのが現状。再開発の事業実現化を通じて地価を上げることが一つの最終的な目標として、取り組んでいきたい。

(委員)

観測のやり方をもっと実態を把握するような方法に検討した方が良いのかもしれない。

(4) 令和8年度の主な事業について

資料3 令和8年度の主な事業について

資料4 まちなかの主な事業

～資料説明：事務局

【質疑応答等】

(委員)

コンパクトシティを実現するためには区画整備のような大規模な面的整備が必要ではないか。都市再生整備計画の策定と関係があるのか。

(事務局)

まちなかの基盤整備はある程度整備されており、大規模な面的整備の必要性はないと考えている。但し、例えば、新栄町では建物が老朽化・陳腐化していくなかで、更新を図る必要があると考える。大牟田市では、立地適正計画で人口減少下における都市機能の集約化、コンパクト化を進めており、強制力のないゆるい形にはなるが誘導を行いたいと考えている。

今後は、都市再生整備計画を策定することや未来ビジョンができたことを契機に、官民連携でまちの形を変えていく、実践的な計画作りをUDCとおおむたと連携しながら進めていきたい。

(5) まちなか活性化プランの点検・見直しについて

資料5-1 「まちなか活性化プランの点検・見直しについて」

資料5-2 「アンケート調査の実施について」

資料5-3 「関係者ヒアリングの実施について」

～資料説明：事務局

【質疑応答等】

(委員)

令和9年6月の策定スケジュールは予算編成の観点から遅いのではないかと。

(事務局)

令和4年6月から5年のスケジュールで、令和9年6月の策定を予定している。また、令和9年1月の協議会で素案を示して内容を固める予定。その後、パブコメと本協議会への意見聴取を経て、1月には一定の方向性がまとまるため、予算編成には間に合わせる予定。

(委 員)

学生アンケートは、若者の居住条件など、課題解決のヒントとなる調査設問を含めると良いと思う。

5. そ の 他

【質疑応答等】

無し

6. 閉 会 ～事務局

事務局より、次回の協議会開催は令和9年1月を予定している旨を連絡。